

- ▶ 仙北市では、経営管理が行われていない森林について、仙北市が森林所有者の委託を受け経営管理したり、意欲と能力のある林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林の管理の適正化を促進する方針。
- ▶ 令和4年度は、地域林政アドバイザーにより抽出された私有林人工林でかつ、手入れが行き届いていない森林の意向調査を実施した。  
また、令和3年度に実施した意向調査結果に基づいて経営管理権を設定し、市町村森林経営管理事業で森林整備(間伐)を実施した。

## □ 事業内容

### 1 森林所有者への意向調査の実施

- ・経営や管理が適切に行われていない私有林人工林の所有者に対し、森林経営管理の意向を調査。

【事業費】6,527千円（うち譲与税6,527千円）

【実績】248.32ha

### 2 経営管理権集積計画の公告・縦覧

- ・令和3年度に実施した意向調査に基づいて、森林経営管理権を設定。

【事業費】4,108千円（うち譲与税4,108千円）

【実績】47.52ha

### 3 市町村森林経営管理事業の実施

- ・令和4年度に森林経営管理権を設定した森林において、森林整備(間伐)を実施。

【事業費】1,661千円（うち譲与税1,661千円）

【実績】11.33ha



（事業3：間伐前の状況）



（事業3：間伐後の状況）

## □ 取組の背景

- ・森林経営管理法が成立したことによって、私有林人工林において、森林所有者が適切に経営管理が行われていない森林について、市町村が仲介役となり、森林所有者と担い手を繋ぐしくみを構築すること、または、自ら経営管理を行うことを目的とする。

## □ 工夫・留意した点

- ・1について、地域林政アドバイザーと協議し間伐が遅れている、適正な管理をしていないなど、地域の実情に応じて優先順位を決定した。
- ・2について、登記簿に記載された情報により、所有権、地上権など関係権利者を確認しながら設定した。
- ・3について、隣接者の同意を得て切り捨て間伐を実施した。

## □ 取組の効果

- ・森林整備が進み、二酸化炭素吸収量の増加が見込まれる。
- ・地球温暖化防止や、災害防止、水源涵養等の様々な公益的機能が維持される。

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：74,146千円	②私有林人工林面積(※1)：12,831ha
③林野率(※1)：83.7%	④人口(※2)：24,610人
	⑤林業就業者数(※2)：217人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より